

科目コード	記号	科 目 名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
2007	SG06	世界史:World History	2S	2・90分	必修	講義・通年	履修単位	
教員名		岩元 修一: IWAMOTO Shuichi						
授業概要	世界史は高等学校で必修となっていること、また本校の教育目標として「さまざまな文化や歴史に触れること」を重視し、「他者や他国の立場を視野に入れ」て幅広い見地から物事を判断できることを掲げている点に配慮して、時間数の関係から近現代を中心にしながら各地域・各国の歴史・文化の認識を深められるように工夫した。							
	到達目標			評価方法				
1) 各地域・国の独自の文化・歴史を理解できること。 2) 同時代の他の地域・国との横の関わりを理解できること。 3) 各地域・各国のありようが時代ごとにどのように変化するかを理解できること。			①中間試験、②期末試験、③小テスト、④口頭試験で評価する。 評価配分は①30%、②30%、③24%、④16%とする。					
学習・教育目標		(F)	JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	前 期		後 期					
	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	「はじめに」と戦後の世界(1)	歴史を学ぶということ世界の見方と評価方法および戦後の世界についてを説明する。		第16	中国の歴史(1)	19世紀の歴史を説明する。	
	第2	戦後の世界(2)	20世紀後半の世界について説明する。		第17	中国の歴史(2)	19世紀後半から20世紀初めの歴史を説明する。	
	第3	19世紀の世界(1)	イギリスとフランスそして第二次産業革命について説明する。		第18	中国の歴史(3)	20世紀前半の歴史を説明する。	
	第4	19世紀の世界(2)	19世紀後半のヨーロッパと帝国主義について説明する。		第19	中国の歴史(4)	20世紀前半の歴史を説明する。	
	第5	20世紀の世界(1)	第一次世界大戦の背景と戦争について説明する。		第20	インドの歴史(1)	植民地化と自立の歴史について説明する。	
	第6	20世紀の世界(2)	第一次世界大戦の終わり方と戦後世界の国際秩序について説明する。		第21	インドの歴史(2)	自立の歴史について説明する。	
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。		第22	米の歴史(1)	米の独立とその後について説明する。	
	第8	20世紀の世界(3)	試験の解答と1920年代から30年代の各国のあり方を説明する。		第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	20世紀の世界(4)	1930年代の各国の対応を説明する。		第24	米の歴史(2)	試験の解答と19世紀のアメリカの歴史について説明する。	
	第10	20世紀の世界(5)	第二次世界大戦について説明する。		第25	イスラム世界の歴史(1)	イスラムに関する基礎知識を確認して、18・19世紀のイスラム世界を概観する。	
	第11	20世紀の世界(6)	第二次世界大戦の処理と戦後の国際関係について説明する。		第26	イスラム世界の歴史(2)	オスマン帝国の19世紀の改革について説明する。	
	第12	朝鮮半島の歴史(1)	半島の独立と戦争についてを説明する。		第27	イスラム世界の歴史(3)	オスマン帝国のその後について説明する。	
	第13	朝鮮半島の歴史(2)	半島の民主化への動きを説明する。		第28	イスラム世界の歴史(4)	第一次世界大戦前後のあり方について説明する。	
第14	東南アジアの歴史(1)	この地域の宗教と植民地化について説明する。		第29	イスラム世界の歴史(5)	第二次世界大戦後のあり方を説明する。		
第15	後期にむけて	試験の解答と後期にむけて15・16世紀以降の世界の見方について説明する。		第30	おわりに	試験の解答とアンケートを実施する。		
関連科目		現代社会、政治経済						
教科書		『世界史A 新訂版』(実教出版)						
参考書		『プロムナード世界史』(浜島書店)						
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員								
備考		教科書・プロムナードは毎回持参のこと(不携帯は「評価方法」の④からの減点の対象となります)。						